

## 1 研究主題

児童が租税の意義や役割を理解するための指導の工夫  
～地域資源について調べる活動を通して～

## 2 主題設定の理由

日常生活において税率の変更など税に関わる報道が行われている現在、税金は私たちにとって欠かせないものとなっている。

本校の児童は第5学年の総合的な学習の時間において、居住地である亙理町の特産物である荒浜のりを調べる活動を通して、社会科「水産業のさかんな地域」についての学びを深めている。児童が租税の意義や役割を理解するためには、上記のように地域教材を活用することで、学習内容を自分事として捉え、意欲的に学習に取り組むことができると考える。

小学校指導要領解説社会編内容（2）イには、「国民は権利を行使する一方で、勤労や納税の義務などを果たす必要があることなどを理解できるようにする」と記されている。内容の取扱い（2）には、「「租税の役割」については、国や県、市によって行われている社会保障（中略）などに必要な費用は租税によってまかなわれていること、それらは国民によって納められていることなどを理解し、租税が大切な役割を果たしていることを考えることができるようにする」とし、児童は国及び地方自治体の財政や租税の意義、役割を正しく理解することが必要である。

これらを踏まえ、児童が地域資源をテーマに教科横断的に学び、発表する活動を行うことで租税の意義や役割をより身近に感じながら、理解させることができると考え、本主題を設定した。

## 3 主題・副題の捉え

### （1）租税の意義や役割について

租税の意義や役割とは、国民生活の安定と向上のために租税が役立てられていることである。

### （2）地域資源について

児童の身のまわりに存在する有形・無形の資源について表す。

## 4 研究方法

- （1）児童の租税に関する実態調査を行う。
- （2）事前・事後調査の比較を行い、児童の変容をみる。
- （3）テキストマイニングの結果を比較し、児童の変容をみる。
- （4）調査記録やプレゼンテーションの分析をする。

## 5 研究計画

令和5年	12月	第1回租税教室実施
令和6年	5月	先行研究・実践者ヒアリング 租税教育実践報告書，国税庁，国税庁発行副読本 事前調査 租税に関する知識について事前調査をとり，児童の実態を明らかにする。 指導計画 各教科の特質を生かした単元構成を考える。
	6～ 10月	授業実践 国語科，社会科，総合的な学習の時間において実施する。 事後調査 事前調査と同様の項目を実施する。 まとめ 児童の発表物や事前・事後調査を比較，分析する。

## 6 研究の概要

(1) 実態調査 (令和6年度 6年1組11名 5月中旬実施)

1 税金は必要であると思うか。	
ある 11人 ない 0人	
2 税金にはどのような種類があるか。(複数回答可)	
消費税	8名
所得税	4名
住民税	3名
自動車税，ガソリン税，固定資産税	2名
宿泊税，酒税，たばこ税，法人税，印紙税， 特別法人事業税，不動産所得税，国民健康保険税 国際観光旅客税，鉾区税(・狩獲税 ・価格税 ・ 教育税)	1名
無回答	2名
※ ()内は実在する税金ではない。	
3 税金について知っていることを挙げなさい。(複数回答可)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会保障</li> <li>・ 国のためにお金寄付する事，火事などがあつた時税金を使って建物を直す</li> <li>・ 教育を受けられる ・ 国や市町村のために払うお金 ・ 国民の義務</li> <li>・ 税金を払わないと脱税と言う犯罪になる</li> <li>・ 税金がないとトイレなど使うのにお金がかかってしまう</li> <li>・ 税金はたくさん種類がある ・ 国に預けている ・ 図書館などの公共施設が建てられる</li> <li>・ 国会を開くためのお金 ・ 家を建てていると取られる ・ 学校の物のために使われる</li> </ul>	
無回答3人	

(2) 指導計画

次	段階		教科(時数)	内容
1	税金について理解する	租税の意義や役割について理解しよう	社会科(1)	第一回租税教室 仙台南税務署
			社会科(1)	小单元「子育て支援の願いを実現する政治」の中で「税金の働き」について学習する。
			総合(1)	第二回租税教室 仙台南税務署
2	地域素材を活用し、調査する	亘理町の税金の使われ方を調べよう	総合(2)	亘理町を題材にテーマを設定し、グループで調べる。
			家庭学習	調べたことを整理する。
			総合(1)	第三回租税教室 亘理町税務課
			家庭学習	租税教室で理解したことを再度整理、調査する。
3	調査したことを、論理的にまとめる。	調べたことを下学年に伝えよう	総合(1)	個人で調べたことをグループで共有、整理・分析を行う。
			国語(2)	プレゼンテーションにまとめる。
			学習発表会	発表する。

(3) 実践の概要

【第1次】「租税の意義や役割について理解しよう」

- ・社会科「税金の働き」で国民の三大義務として納税があること、公共施設の建設・運営費用が税金で賄われていることを学んだ。
- ・第二回租税教室の実施。概要は以下の通りである。
  - ①税金の種類について：税金の種類は多く、現在50種類あること。多くある理由は、特定の人だけが税金の重みを感じる事が内容にするため。
  - ②軽減税率について：軽減税率という税制度は、国民の負担を配慮するためであること。
  - ③副読本を使った税金の使い道について：税金が身の回りの様々なものに使われていること。

【第2次】「亙理町の税金の使われ方について調べよう」

- ・第5学年総合的な学習の時間「荒浜のり」の学習を想起させ、学習活動の見通しをもたせる。
- ・ウェビングマップを活用し、課題や問い、調べたいことを可視化させる。
- ・児童はグループ毎に調べたいことや疑問点に基づいたテーマを設定した。  
設定されたテーマ：税金の使い道、軽減税率、税金の種類
- ・各テーマについて、児童は亙理町を題材に調査を行った。  
調査方法：副読本、国税庁等HP、社会科副読本、亙理町広報誌
- ・授業時間内は、グループで協力して調査できるようにするため、家庭学習で、各自調べた内容を整理した。
- ・児童から「亙理町の税金に詳しい人にインタビューしたい」という希望が出る。  
◦第3回租税教室で質疑応答の時間を設ける。
- ・第3回租税教室の実施。内容は以下の通りである。
  - ①亙理町の税金の内訳について  
町内に新しく建設される給食センターなどの具体例の提示
  - ②児童から調査の中で生じた疑問について質疑応答（図1）



図1 第3回租税教室の様子

【第3次】「調べたことを下学年に伝えよう」

- ・調べた内容をプレゼンテーションにまとめる。  
以下の表は、各チームの発表原稿の一部抜粋である。

テーマ	(一部抜粋) ※ 波線：税金の役割, 二重下線：税金の必要性
税金の使い道	このように税金で、公共施設は、皆さんに、 <u>便利で快適に使用してもらうために公共施設に使われています。</u> 私たちにとって <u>税金は生活を支えてくれる大事なお金</u> だと思います。
軽減税率	税金があると <u>警察や消防士が活動できたりするので、税金は大切</u> だと思います。 (中略) 軽減税率があるおかげで、私たちの生活の <u>負担が減って</u> いて、 <u>ゆたかなもの</u> になっています。
税金の種類	税金とは、 <u>みんなが払うと、建物を建てられたり、災害があった時に寄付できる、社会を支えるお金</u> のことです。

- ・学級発表会を設ける。互いに学び合わせ、下学年が分かりやすい内容かどうか確認させる。
- ・学習発表会で、下学年に向けて発表し、税金の意義や役割を伝える。

(4) 事後調査 (令和6年度 6年1組 11名 10月中旬実施)

1 税金は必要であると思うか。

ある 11人 ない 0人

2 税金にはどのような種類があるか。(複数回答可)

無回答0名

税の種類	事前調査	事後調査	税の種類	事前調査	事後調査
消費税	8名	8名	事業税	0名	2名
入湯税	0名	5名	滞滞税	0名	1名
固定資産税	2名	5名	自動車重量税	0名	1名
住民税	3名	5名	鉾区税	1名	1名
所得税	4名	4名	地方消費税	0名	1名
法人税	1名	4名	法定外目的税	0名	1名
酒税	1名	4名	国民健康保険税	1名	1名
タバコ税	1名	4名	宅地開発税	0名	1名
自動車税	2名	4名	都市計画税	0名	1名
宿泊税	1名	3名	石油ガス税	0名	1名
相続税	0名	3名	ゴルフ場利用税	0名	1名
贈与税	0名	2名	軽自動車税	0名	1名
ソーダ税	0名	2名	宮城環境税	0名	2名
ポテトチップス税	0名	2名			
月餅税	0名	2名			

3 税金の学習についての感想 (主な感想) ※囲み：税金の役割, 下線：税金の必要性

調べてわかることがたくさんあったり、僕たちの周りには、こんなにも税金に支えられていることがわかりました。ほくは公共施設についての発表をします。この発表で税金の大切さを色々な方に知ってもらいたいです。

税金について学習してみて、税金はいろんな種類があるけれど私たちの生活に必要なものだし、外国には、ポテトチップス税やソーダ税があるとは知らなかったの、しれたので良かったです。発表をしてみて、税金は大切なんだと相手に伝わるとういなと思いました。

工芸品チームは軽減税率について調べましたが、食べ物ではない新聞が軽減税率に適合されたり、酒類は軽減税率に適合されなかったりなど、たくさん税金がある中、色々細かく決まっています、それだけ消費税などの税金が大切なのだと思います。一方で、「みりんはアルコールが何%が入っているので軽減税率対象外」のようなものもあったので、少し難しいとも思いました。消費税だけでなく、自動車税や法人税など、他の税金にも細かい決まりがあるのか調べてみたいです。

前までは税金は何に使われているのかが分かりませんでした、先生や色々な人から税金について学んで、色々な種類の税金があることや、税金がいろいろな場所で使われていることがわかりました。

## 7 研究の成果と課題

### (1) 成果

- ・以下は事前調査と事後調査の「税金にはどのような種類があるか。」の比較である。  
赤囲みは答える人数が多かったもの、緑囲みは新しく回答があったものである。



図2 事前調査と事後調査の比較

#### 【事前調査から】

- ・図2や事前調査質問2の表から、消費税について多くの児童が認識していることが分かるが、質問3の下線部は、児童一人が答えたものである。児童の理解の差があることが分かる。
- ・質問3「家を建てていると取られる。」等消極的な考えであることが分かる。

#### 【事後調査から】

- ・テキストマイニングの比較から、様々な税金の種類について、理解したことやそれらが税金の負担を分散させるためであることを理解している。
- ・児童が、租税の役割について触れながら、税金の重要性について理解していることが分かる。

#### 【発表原稿から】

- ・児童が地域資源を調べる活動を通して、自分の生活に密接であることを捉えている。

⇒これらから、始めは税金に対して、消極的な考えであったが、地域資源を通して調べることで、密接感を感じ自分達の生活向上、安定のために重要であることを理解し、肯定的な考えへと変化している。

### (2) 課題

- ・税金についての意義、役割を理解し、税金の重要性を感じているが、将来の納税者として、納税する義務感を感じさせることができなかつたと考える。

⇒将来を意識した発問等を投げかけ、児童が考える場面を設ける必要があったと考える。